



発行日：2024年8月1日

発行元：里親家庭サポートセンターいろは

暦の上では夏も終盤を迎えましたが、まだまだ夏本番の暑さですね☀️

4月から里親支援センターをスタートし、みなさんに知ってもらうためにはどうしたらいいか、何かからできるのか、いろはスタッフでたくさん話をして少しずつトライしています。やってみて里親のみなさんの声を聴いて、またやってみる…。いっぱい歩んでいきたいです。

わたしたちをもっと知っていただくために、いろは通信ではいろはの「今」をお伝えしていきます。

鳥取県は里親家庭をチーム養育でサポートします。

いろは、里親のみなさんや児童相談所はもちろん、施設に配置された里親支援専門相談員等とつながり合い、こどもへの切れ目のないサポートを目指します。

鳥取県のチーム養育



センター長

こどもの自立を支援する

さとせん

里親の養育を支える
支え合う



里親等支援員

さとせん

児童相談所



里親家庭

里親委託をすすめる

里親を広める
増やす



里親リクルーター

さとせん

里親を育てる
育ちあう



里親トレーナー

さとせん

さとせん…里親支援専門相談員



山口県 里親養育サポートセンターれりーふ視察

中国地方では、山口県と鳥取県に里親支援センターが設置されました。里親養育サポートセンターれりーふは、令和2年度に開設され、少しずつ県からの委託業務を増やしながら事業展開され、里親支援センターに移行した経過も聞きました。普及啓発活動のノウハウや、民間ならではの柔軟な発想と実行力に、たくさんの刺激をもらいました。夜の懇親会では、鰻（ハモ）の天ぷらや湯引きを囲みながら、里親支援センターの今後の展開について話題は尽きず…。今回の視察研修で得たものをいろはの日々の業務に生かしていきます。れりーふのみなさんに感謝です。



いろは NOW



リクルート部門



ロゴが完成しました！！

フォスタリングマークを基調に、いろはの文字はやわらかく手書き風に。平和の象徴でもあるオリーブをフォスタリングリボンで結び、ひとめで里親支援センターと分かるあたたかみのあるロゴとなりました。鳥取県在中のイラストレーター「さらぼ」さんに作成を依頼。このロゴとともに、鳥取らしい里親支援センターを目指します。

里親出前講座を実施しました！

- 6月19日（水）鳥取こども学園法人内
- 6月25日（火）末恒公民館民生児童員定例会
- 6月28日（金）富益公民館「松陰ふれあい塾」
- 7月12日（金）青谷町「みんなで学ぶ人権講座」
- 8月2日（金）鳥取ファミリー・サポート・センター研修会

里親体験談をセットとすることで、会場の方々はより真剣に興味深く傾聴されていました



出前講座終了後の感想より

里親制度をあまり知らなかったのですが、鳥取にもいらっしゃるの聞いてびっくりした

里親さんの想いや決意を聞くことができ、里親を身近に感じられた

出会ったこどもひとりひとりを大切にしている様子が伝わってきた

体験談を聴いて、里親さんが日々心を砕いて子どもに関わっていることが伝わってきました

委託すいしん部門

里親家庭意向調査へのご協力、ありがとうございました。

調査の結果を基に、必要に応じて個別に連絡をとっています。特に、未委託の方で研修等を希望されていた方には個別にご連絡をさせていただきます。意向調査に基づいて家庭訪問なども実施していきます。



トレーニング部門

今年度第1回目の基礎・登録前研修を実施しました！



里親になりたい方が集い、基礎・登録前研修（西部開催）を実施しました。みなさんはじめは緊張しつつも講師の話に興味深く耳を傾けていました。里親制度はこどものための制度であり、公的な養育を私的領域（おうち）でおこなうとは、等の里親として知っておいてほしい講義内容です。

2日目の講義では、里親としてのやりがいや喜びだけではなく、苦労や葛藤も里親体験談を通じてリアルな話を聞いてもらいました。



養育サポート部門

いろはでいろいろ話そう♪サロン「いろはな」

今回はペア・トレ「ちはっさく講座」を各地区の児童相談所判定課さんのご協力のもと各地区1回ずつ実施しました。



何回受けても、自分の声掛けを振り返る場になり、とてもよい時間となりました。

実際に子どもと関わるときに「共感」や「一緒にする」を心掛けたところ穏やかに過ごすことが出来ました。



託児ありだったので、夫婦で参加出来てよかったです。

里親メンター訪問事業について

メンターとは、指導者や助言者、相談者などを意味する言葉です。里親メンターは、援助を希望する里親宅に訪問し、傾聴を主とした養育相談などの支援活動を行います。援助を希望した里親が、養育の負担を軽減することを目的としています。

里親メンター紹介シートを現在作成中です！近日中に配布しますのでお楽しみ～♪

里親メンター紹介

- ★ 東部地区：村上里親
- ★ 中部地区：福谷里親
- ★ 西部地区：小原里親



自立サポート部門

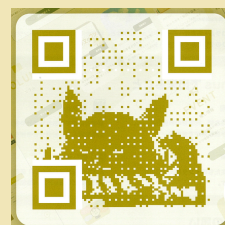


いろはでは、各種奨学金の案内を対象の里子がいる家庭に行っています。こどもたちが安心して進学できるように、国の修学支援制度に加え民間の給付型の奨学金もたくさん出てきています。

大人の支援と子どもの努力が“実を結ぶ”

社会的養護のための奨学金検索サイト Miomus オープン

奨学金等の事業に取り組まれている全国の団体と、奨学金情報等の発信について連携するネットワーク団体、「Miomusネットワーク」を設立され、養育にかかわる職員さんや里親さんなどを対象にしたインターネットサイト「Miomus」が運営されることとなっています。ご活用ください！



	特別育成費 大学受験支援	Jasso受験料等補助
支給額	実費 (上限15万8千円)	20万円(渡し切り)
対象	高等学校等3年生	・当年度3月末に卒業予定 ・高等学校等を卒業2年以内
申請方法	各管轄児童相談所	里親が日本学生支援機構に申請

今年度は、措置費の中の特別育成費「大学等受験支援」という新しい項目が加わりました。日本学生支援機構「受験料等補助」とも併用可能となっており、その違いについて紹介します。

対象経費としましては、受験料・交通費・宿泊費・願書の取寄せ及び出願に要する費用等です。
※大学のほか、短期大学、高等専門学校等が利用可能です。

お知らせ 『マイナ保険証移行について』

デジタル庁のホームページによると、健康保険証はマイナンバーカードを基本とする仕組み（マイナ保険証）へ移行し、2024年12月2日から現行の健康保険証は新規発行されなくなるようです。

医療機関・薬局を利用する際は、マイナンバーカードを利用することとなります。社会的養護のもとで暮らすこどもたちは原則としてマイナンバーカードを作成していないため、「今後どうしたらいいのか…」と、お困りの方もいると思います。しかし、現時点では国の方針などが示されておりません。

現在、鳥取県家庭支援課が今後の取り扱いについて調査・確認しているところです。詳細が分かり次第お知らせします。

いろは 掲示板



出前里親講座

里親を知ること
里親がもっと
身近になる

里親制度の説明・里親の体験談

やむを得ない事情で家庭を離れて暮らしているこどもが、鳥取県には約300人います。そんなこどもたちを家庭に迎え入れ、温かい愛情をもって養育する里親。里親のことを一緒に考えてみませんか？

●自治会 ●PTA ●職員研修 ●地域の集まり…
鳥取県内どこでも当センター職員がうかがいます！

時間：15分～60分程度
内容：里親制度の説明、里親が必要な理由など
*里親による体験談をセットにすることもできます。

お問い合わせ
里親家庭サポートセンターいろは
☎ 0857-22-4221 〒680-0061 鳥取市立川町五丁目4 1 7 番地

あなたの町でも！里親出前講座

まだまだ認知度の低い里親制度。しかし、わたしたちの目の前にはたくさんの里親家庭があります。地域に里親制度を広く知ってもらい、里親家庭が地域で暮らしやすい環境を目指します。もちろん、里親制度を広めるためにも、いろはでは里親出前講座を実施しています。

民生児童員の集まり、公民館の集まり、PTA関係などなどお近くの集まりで「これだ！」と思われたらいろはにご連絡ください。

鳥取県内どこでも出向きます。

みんなで里親制度を広めていきましょう！

COMING
SOON

ホームページについて

作成中です！
8月中に開設できるよう現在進行中です。お楽しみに

里親制度説明会 開催

里親に興味がある方に向けた説明会です。
ぜひご紹介ください

里親スキルアップ研修 企画

里親の方にスキルアップ研修を企画中です。
お楽しみに！

いろは

里親家庭サポートセンター

里親家庭サポートセンターいろは

住所：鳥取県鳥取市立川町五丁目4 1 7

電話：0857-22-4221

メール：iroha@tottorikodomogakuen.or.jp